



や っ か い ろ き ぼ う

八束色の希望

学園教育目標：ふるさとを愛し、人間性豊かでたくましい学園生の育成

松江市立義務教育学校
八束学園
令和7年 6月24日
学園長 後藤康太郎

今年度もスタートして2か月が過ぎました。梅雨を迎え、雨模様の日が続きますが、学園生は沢山の行事もあり、忙しい時期を迎えています。そんな行事の一部を紹介します。

リレーカーニバル (5/26)

「リレーカーニバル」は9月に実施予定の体育祭のリレー種目を、時期をずらして実施したもので、今年度初の試みです。9学年が一堂にそろってお互いに声援を送りあう、八束学園らしい姿が見られました。体育祭での学園生の活躍がますます楽しみです。



5年生「大山宿泊研修」(5/22, 23)

5年生は1泊2日で「大山青少年の家」で宿泊研修を行いました。初日はサントリーの天然水を作る工場を見学した後、赤松池でカヌーに挑戦し、夜は「キャンドルの集い」で楽しみました。翌日は火起こし体験で起こした火を使って野外炊飯を行い、カレーライスを作りました。大山の素晴らしい自然の中で普段できない体験をすることができ、またたくさんのルールやマナーを学んだ有意義な研修となりました。



前期ブロック「ハッピーピクニック」(5/30)

前期ブロック(1年生～4年生)は、恒例の「ハッピーピクニック」で宍道湖グリーンパークと宍道湖自然館ゴビウスに出かけました。グリーンパークでは館内見学のほか、キーホルダーづくりにも挑戦しました。また、ゴビウスでは水辺の生き物を観察しながらビンゴゲームにも挑戦したようです。ブロックリーダーである4年生がリーダーになって、楽しく思い出に残るピクニックになりました。ルールやマナーを守って、仲良く楽しく過ごせたようです。



後期課程の部活動も頑張っています！

東部地区吹奏楽祭(6/7)

吹奏楽部は東部地区吹奏楽祭に出演しました。
曲目は、「星の天使 クレーの天使たちに寄せて」

で、本番では堂々と素敵な演奏を披露してくれました。

この曲で、松江バンドフェスティバル、島根県吹奏楽コンクールに出場します。現在目標に向け、日々練習に励んでいます。

吹奏楽部部长：9年生

吹奏楽部です。6月7日に県民会館で行われた、東部地区吹奏楽祭に出場しました。新体制になり、初めて舞台上で自由曲を演奏しましたが、課題もまだまだたくさんあるので、バンドフェスティバル、島根県吹奏楽コンクールに向けて、部員一丸となって向かいたいと思います。応援よろしくお願いします。



松江ブロック大会 (6/12~14)

松江ブロック大会が開かれました。運動部にとって集大成となる大会でもあり、各部とも最後まで、全力で戦った大会でした。自分や仲間を信じて真摯に競技に向かっていく姿には、多くの感動する場面もありました。また、大会前の壮行式では、仲間のために心のこもった応援があり、それらも含め、すべての学園生に拍手を送りたい大会であったと思います。

野球部

1 回戦	八束・本庄・八雲合同	6 - 5	美保関中
2 回戦	八束・本庄・八雲合同	0 - 3	松江三中

キャプテン：8年生

野球部は1回戦目に美保関中学校とあたり、リードされている場面もありましたが、チーム一丸となり、最後は逆転をし、勝利することができて良かったです。2回戦目に松江第三中学校とあたり、相手は実力のあるチームでしたが、4回まで0対0の試合をしました。しかし5回に3点を入れられてしまい、そのまま負けてしまいました。負けてしまいましたが、とてもいい試合ができたと思います。この悔しい気持ちを忘れず、練習に一生懸命取り組み、来年は優勝します。応援ありがとうございました。



バレー部

予選E組	八束学園	2 - 0	鹿島中	八束学園	2 - 0	開星中
決勝	八束学園	2 - 0	八雲中	八束学園	1 - 2	BLUE ROSE
代表決定戦	八束学園	2 - 0	宍道中			

5位で県大会出場権獲得！

キャプテン：9年生

わたしたちバレー部は、3日間ともチーム一丸となって戦い抜くことができ、県大会の出場権を獲得することができました。県大会に進めたのは、応援してくださった皆さんや先生方、保護者の方々のおかげです。本当にありがとうございました。県大会でもいい結果を報告できるように、日々の練習に集中していききたいと思います。引き続き、あたたかい応援をどうぞよろしくお願いします。



卓球部

団体戦： 予選リーグ
順位決定戦

男子ダブルス

八束学園 3-2 八雲中 八束学園 2-3 松江四中
八束学園 3-1 松江三中 八束学園 2-3 松江二中
団体6位で県大会出場権獲得！
ベスト8で県総体出場権獲得！

キャプテン：9年生

僕たち卓球部は、団体戦と個人戦（男子ダブルス）で、両方とも県総体の出場権を得ることができました。

団体戦ではチーム全体で団結し、とても良い試合をすることができました。しかし、その一方で個人戦では県総体に出場できるものの、心の甘さが出てしまい、悔しい結果となってしまいました。だからこれからは、普段の生活から自分に厳しくしていき、県総体でリベンジを果たせるようにしていきたいです。応援していただきありがとうございました。



多忙で落ち着かない今の時期だからこそ・・・

ゴールデンウィークの終わってから一学期の後半にかけ、特に後期課程の学園生にとっては、新しい学年での変化や緊張感のなかで、ブロック大会や吹奏楽の発表、定期テストなどを迎え、一年のなかでも、とりわけ落ち着かず、また多忙感や疲労感を感じる時期と言われています。また天候の不順も、子どもたちのメンタルに影響するとも言われています。

そんななかで、このところ学園生の持ち物がよごされる、かくされる、ということが続きました。校内での持ち物の管理をしっかりと行っていくことと同時に、許されないことであること、そのようなことをされた人の気持ちを考えてほしいことなどについて、重ねて学園生に指導をしています。併せて気持ちがざわざわしたり、イライラしたり、不安定になりがちな子どもたちに寄り添いながら、日々の生活をおくっているところです。

以前「10秒の愛」という話を聞いたことがあります。「10秒の愛」とは、忙しい日常の中で、毎日10秒でもいいので、子どもや周囲の人たちに真剣に向き合い、温かい関わりを大切にしていこうという取り組みの合言葉です。わずか10秒間でも、目の前の子どもに、本気で、真剣に向き合うことが、その子への「優しさ」の貯金となるのだと思います。

この合言葉は子育てに関わる大人の姿への提唱です。しかし学園生にとっても「私の10秒」を「あなたとの10秒」「あなたへの10秒」という意識でいることが、お互いを大切しようという関係につながるようにも思いますし、そのような思いを大切にしてほしいと願っています。

「10秒」は意外と長いものです。だれかのために、10秒間、待つ・聞く・考える・思う。

余裕のない忙しい時期だからこそ、それぞれの「10秒の愛」をお互いに注ぐことに意識を向けてみてほしいと願います。家族や仲間と真摯に向き合う時間を、毎日わずかな時間でいいので、学校でも家庭でも、大切にしていきたいです。